

我が愛する街、白石

My town to love, Shiroishi.

道議として全道を駆け回りながらも、常に“我が町”を気に懸ける森道議。顔を合わせれば、声をかけ、笑顔に向けてくれる人たちがたくさんいるから一。だから、安心して暮らせる街、笑顔が満ちあふれる街づくりを、まず足元から広げていこうと思っています。



道本部幹事長として北海道全体に目配せをする日々ですが、週に一度は地元・白石の皆さまに活動のご報告をしたいーそんな思いから、毎週、区内で街頭演説を行っています。あちこちに“出沒”していますので、見かけたらぜひ声をかけて下さい。

街頭で活動報告に立つ



6月、森道議は、白石区北郷東町内会の運動会に参加。地域の皆さんと親しく懇談するとともに競技にも出場、楽しい一日を過ごしました。

地域の運動会に参加

プロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退社(22年間勤務)
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成15年 同 2期目当選
- ◆公明党北海道本部幹事長
- 北海道議会保健福祉常任委員会理事
- 同 道州制問題等調査特別委員会理事
- ◆妻と2女の4人家族



暗い夜道を明るく一

暗い夜道は女性や子どもにはたいへん危険な場所。菊水元町2条1丁目に新たに街路灯が設置され、大変喜ばれております。「安心して歩けない」と地域の皆さんの声を聞き、すぐに谷沢俊一・札幌市議会議員と連携し対応したものです。



安心・安全な街づくりをこれからも一

森道議のライフワークの一つである、『安心・安全な街づくり』。4月に道でも条例が施行されましたが、実際に運用に当たって課題などが無いが、7月、道警の担当者とともに勉強会を開催しました(写真上)。もとより、この問題にゴールはありません。これからも、我が街・白石、そして愛する北海道のため、全力で取り組んでまいります。

森しげゆき後援会事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043
ホームページ <http://kmplan.net/usr/mori/>
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行: 森成之 / 編集: ケー・エム・プラン

もり 木 しげゆき通信



2005

秋号



トピックス

医師がヘリコプターに同乗して救急現場に急行し、患者をヘリの中で治療しながら病院に運ぶ「ドクターヘリ」の本格運行が、4月から北海道でスタートしました。8月末現在ですでに85回の出動を数え、大いに威力を発揮しています。森道議も議会において、「面積が広く医療過疎地域の多い本道にこそ必要不可欠である」と訴えてきました。

小児救急電話相談も大好評



党白石総支部で携帯用カードも作成

昨年12月から始まった小児救急電話相談が、この8月末現在で1,993件に達しました。この救急電話相談は、子どもが夜間、急な病気や事故で具合が悪いときに、家庭でどのように対処すればよいかを看護師がアドバイスしてくれるシステムで、森道議も昨年9月の定例道議会で早期の実施を訴えてきたものです。

今後は、休日を含む24時間体制の実現に取り組んでいきます。

ごあいさつ

過日行われた衆議院選挙では、皆さまの真心からのご支援を賜り、さまざまな“風”が吹く中で北海道比例区の1議席を死守したばかりか、全国でも過去最高の得票をいただく大勝利となりました。あらためて、心より御礼申し上げます。

その時にキーワードとなったのが『改革』の2文字でしたが、それは国政だけでなく、もとより、道政に臨む私どもの姿勢でもあります。道民の皆さまがどういう変革を期待されているのか、多くの方々の声にじかに耳を傾けながら、具体的な政策の実現に全力を傾けてまいります。

日々、東へ西へと走る中で、まだまだやるべきことが山積しているのを痛感しております。どうか皆さま方の一層のご指導をお願い申し上げます。

北海道議会議員 森 成之

“救える命を救え!”
ドクターヘリ、
森道議の議会質問が実を結び、
大空を駆ける

『見て、聞いて、確かめて—』

森しげゆきの“現場主義”は変わりません

全道を東奔西走する森しげゆき道議。そこには、一貫して変わらぬ『現場主義』の信念があります。これまで積み重ねてきた実績の数々は、自分の目で確かめ、当事者の声に耳を傾ける中で実現してきたものです。



防災セミナーで救急救命学が

全国で地震が頻発する中、党道本部が江別市にある北海道消防学校で防災セミナーを開催、森道議も参加しました。この日は救助の現場の実際を体験するとともに、実際に災害時に必要になる人工呼吸や除細動の手順について学びました。

避難所の実態調査を申し入れ

公明党道本部は春に全道の避難災害所の実態調査を行いました。その結果、耐震性に問題があったり、いざというときに電気が使えないなどの問題が判明、道に対し、あらためて避難所の実情調査を求めるとともに、地域的な防災力の向上、また防災思想の普及などを申し入れました。



水産業界現場の切実な声聞く

党道本部は水産業の関係者を招いて水産振興フォーラムを開催、森道議も出席しました。この日は業界団体の代表をはじめ、道から副知事や関係部署の担当者も参加、水産業の現場の声だけでなく、道の施策や今後の方針などについても話を聞くなど、有意義なフォーラムとなりました。



外国人旅行客誘致に向けた北海道の空の玄関口・新千歳空港は、国際線ターミナルが手狭で、海外からの到着便が重なると入国手続きにかなりの時間を要しています。森道議は実際に入国客が通る道筋をたどりながら不便さを“体感”。今後、国際線ターミナルの設備の充実、手続き体制の拡充を国に要望していきます。



未処理のままとなっているアスベストが全国的に問題となっていますが、道の施設の道立衛生研究所でも、倉庫の天井に残されていることが判明、森道議はいち早く現場の視察に訪れました。現状は施設して入室禁止としていますが、今後、より実効的な対策を検討し、取り組んでいきます。



北海道新幹線・札幌延伸を目指す

北海道新幹線の起工式が5月、北側国土交通大臣の出席のもと、行われました。これにより、道民の関心は一日も早く札幌までの延伸を実現することに移りましたが、森道議は、党道本部として勉強会を開催、ＪＲ北海道の坂本眞一会長を講師に迎え、札幌延伸へのさまざまな課題等について話を聞きました。

実現しました！

知床を“世界の憧れ”に

道民待望の知床の世界遺産登録が、7月17日、ついに実現しました。

森道議は、昨年10月に現地を視察、網走支庁長をはじめ地元関係者と今後の観光産業のあり方や課題などについて意見交換、実現に向けて手を尽くしていました。今後は、知床のすばらしさを多くの人に知ってもらうためのフォーラムやシンポジウムの開催などを道に働きかけていきます。

